

博多バスターミナル株式会社

経営状況説明資料

経済観光文化局

(令和元年9月)

< 目 次 >

博多バスターミナル株式会社の概要

1. 設立目的、事業内容等	1
(1) 名称、設立年月日、所在地	1
(2) 設立目的	1

事業報告

1. 会社の現況に関する事項	2
2. 会社の株式に関する事項	4
3. 会社役員に関する事項	5
4. 貸借対照表	6
5. 損益計算書	7
6. 株主資本等変動計算書	8
7. 個別注記表	9

博多バスターミナル株式会社の概要（令和元年8月31日現在）

1. 設立目的、事業内容等

(1) 名称、設立年月日、所在地

- ア 名 称 博多バスターミナル株式会社
- イ 設立年月日 昭和38年3月15日
- ウ 所 在 地 福岡市博多区博多駅中央街2番1号

(2) 設立目的

当社は、次の事業を営むことを目的とする。

- ア バスターミナル事業
- イ 貸室業
- ウ 広告宣伝に関する事業
- エ 駐車場に関する事業
- オ 食堂、売店及び風俗営業
- カ ホテル業
- キ 旅行業
- ク 構築物の設備及び機器の管理に関する事業
- ケ 前各号に付帯する一切の事業

事業報告

(平成30年4月1日から
平成31年3月31日まで)

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過およびその成果

当事業年度におけるわが国経済は、国内企業収益の堅調な動きを背景に、雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、豪雨、台風、地震などの自然災害等により消費者マインドには大きな改善は見られませんでした。

博多駅地区は、商業集積による集客力の向上に加え、インバウンド需要にも対応したホテルの相次ぐ開業等により、街一帯の活性化がさらに進みました。

このような状況の中、当社は、昨年に続き訪日外国人旅行者向けに情報発信を行うと同時に、利用者サービスの向上に向けて、社員のCS研修を実施し、またバス案内所に外国人客向けの専門案内係を配置し、お客さまの視点に立ったスムーズな接客に努めてまいりました。その他、全社員を対象にした英会話スクール通学支援制度を作るなど、社員の外国人客向けコミュニケーション能力の向上にも努めてまいりました。

貸ホールにつきましては、予約システムのWEB化により24時間予約を可能にするなど、お客さまの利便性を向上させるとともに、変動料金制度を導入し増収策を図りました。

また、次年度の地下1階、2階および3階の商業フロアのリニューアルに向けて、既存テナントとの退店交渉、新規テナントの誘致を行い、準備を進めてまいりました。

この結果、営業収益は、2,374,759千円(前期比△12,930千円、0.5%減)、経常利益444,731千円(前期比△18,191千円、3.9%減)、当期純利益は292,095千円(前期比△6,933千円、2.3%減)となりました。

各部門別の概況につきましては次のとおりです。

(ビル事業部門)

家賃収入は、2階マクドナルド、7階ナムコ、8階飲食店等、歩合賃料を適用するテナントの売上が好調に推移し、前期比7,905千円の増収となりました。

広告収入は、スクールラックや置型サイネージ等の解約により、前期比4,917千円の減収となりました。

直営収入は、ローソンの営業時間短縮等により、前期比6,533千円の減収となりました。

その結果、ビル事業部門全体では1,920,958千円(前期比△3,545千円、0.2%減)となりました。

(ターミナル事業部門)

ターミナル使用料は、市内線100円循環の廃止等により前期比5,103千円の減収となりました。

切符代売手数料は、熊本線回数券値上げによる駆け込み需要(2018年3月末)の反動減により、前期比4,281千円の減収となりました。

その結果、ターミナル事業部門全体では453,801千円(前期比△9,385千円、2.0%減)となりました。

(2) 設備投資等の状況

当事業年度において実施いたしました設備投資の主なものは、次のとおりであります。

①当事業年度に完成した主要設備

1. エスカレーター改修工事(ビル事業部門)
2. 貸ホール予約システムおよびテナント売上管理システムの再構築(ビル事業部門)

②当期継続中の主要設備の新設、拡充

- 3階フロアリニューアル工事(ビル事業部門)

(3) 資金調達の状況

該当する事項はありません

(4) 対処すべき課題

博多駅地区の活性化と競争激化に対応するために、ビル事業部門は、地下1階、2階、3階の商業フロアのリニューアル計画を実行に移し、集客力の強化に努めてまいります。

ターミナル事業部門は、利用しやすいバスターミナルを目指し、お客さまの視点に立って、現状の問題点や課題を抽出し、解決を図ってまいります。その一環として、外国語表記を含めた案内サインの見直しを図り、利便性の向上に努めてまいります。

また、トイレの改装、空調設備更新等、館内の環境改善の他、安全の確保に向けたエレベーター・エスカレーターの保全整備、バス車路整備工事等、安全・安心に対する取り組みも確実に行ってまいります。

会社全体としては、引き続きお客さま満足向上に向けたCS活動に取り組みます。さらに各部門の競争力を高めるために、年間研修計画に基づいた階層別、職種別研修を実施し、社員の人材育成を強化するとともに働きやすい職場風土づくりに取り組んでまいります。

(5) 財産および損益の状況の推移

区 分	平成27年度 第54期	平成28年度 第55期	平成29年度 第56期	平成30年度 (当期)第57期
営業収益	2,271,641千円	2,287,263千円	2,387,690千円	2,374,759千円
ビル事業部門	1,817,776千円	1,836,362千円	1,924,503千円	1,920,958千円
ターミナル事業部門	453,865千円	450,900千円	463,186千円	453,801千円
経常利益	401,740千円	370,392千円	462,922千円	444,731千円
当期純利益	214,441千円	230,717千円	299,029千円	292,095千円
1株当たり当期純利益	1,072.21円	1,153.59円	1,495.15円	1,460.48円
総資産	7,870,137千円	7,621,512千円	7,463,316千円	7,198,623千円
純資産	2,490,341千円	2,662,543千円	2,901,052千円	3,132,316千円

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数に基づいて算出しています。

(6) 重要な親会社および子会社の状況

①親会社との関係

当社の親会社は西日本鉄道株式会社で、同社は当社の株式を135,900株(出資比率67.95%)保有いたしております。

親会社は、当社のターミナルを使用し、また当社に切符販売業務を委託しています。

(7) 主な事業内容および事業施設等(平成31年3月31日現在)

- ①主要な事業内容 : 貸室業、バスターミナル業、広告宣伝業、売店業
- ②事業所の所在地 : 福岡市博多区博多駅中央街2番1号

(8) 従業員の状況(平成31年3月31日現在)

区 分	従業員数	前期末比増減数	平均年齢	平均勤続年数
男	21名	—	36.8歳	9.2年
女	30名	4名増	36.3歳	9.2年
合 計	51名	4名増	36.5歳	9.2年

(注) 厚生年金加入者を従業員としています。

(9) 主要な借入先(平成31年3月31日現在)

借 入 先	借入金残高
西日本鉄道株式会社(CMS)	1,863,750千円

(10) その他会社の現況に関する重要な事項

該当する事項はありません。

2. 会社の株式に関する事項(平成31年3月31日現在)

(1) 発行済株式の総数 200,000株

(2) 株主数 6名

(3) 株主

株 主 名	持 株 数	持株比率
西日本鉄道株式会社	135,900株	67.95%
九州旅客鉄道株式会社	42,000株	21.00%
福岡市	8,000株	4.00%
昭和自動車株式会社	7,000株	3.50%
株式会社博多ステーションビル	5,600株	2.80%
祐徳自動車株式会社	1,500株	0.75%
合 計	200,000株	100.00%

(4) その他株式に関する重要な事項

該当する事項はありません。

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役および監査役の氏名等（平成31年3月31日現在）

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
竹島 和幸	取締役会長	西日本鉄道株式会社 取締役会長
宮田 克彦	取締役社長(代表取締役)	
野尻 克宏	常務取締役(ターミナル部担当)	
大田 利幸	常務取締役(業務部担当)	西鉄旅行株式会社 常務取締役
楠田 澄人	取締役(営業部担当、営業部長 委嘱)	
森 亨弘	取締役	九州旅客鉄道株式会社 上席執行役員総合企画本部副本部長
金子 晴信	取締役	昭和自動車株式会社 代表取締役副会長
高島 収	取締役	福岡市経済観光文化局長
漆間 道宏	取締役	株式会社博多ステーションビル 代表取締役社長
愛野 時興	取締役	祐徳自動車株式会社 代表取締役社長
大黒伊勢夫	監査役	西日本鉄道株式会社 取締役常任監査等委員
原園 孝	監査役	西日本鉄道株式会社 経営企画部グループ経営推進担当部長

- (注) 1. 平成30年6月22日、監査役佐々木希氏は辞任により退任しました。
 2. 平成30年6月22日、大黒伊勢夫氏は監査役に就任しました。
 3. 平成31年3月27日、常務取締役住本龍彦氏は辞任により退任しました。
 4. 平成31年3月27日、監査役堤裕一朗氏は辞任により退任しました。
 5. 平成31年3月27日、大田利幸氏は常務取締役に就任しました。
 6. 平成31年3月27日、原園孝氏は監査役に就任しました。

(2) 取締役および監査役の報酬等の総額

①当事業年度に係る報酬等

区分	支給人数(名)	報酬等の総額(千円)
取締役	10	45,596
監査役	2	410
合計	12	46,006

- (注)1. 上記報酬等の総額には、第56期定時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名および監査役1名、臨時株主総会終結の時をもって退任した取締役1名に対する報酬が含まれています。
 2. 上記報酬等の総額には、当事業年度に係る役員等退職慰労金引当額の繰入額4,200千円(取締役9名4,150千円、監査役1名50千円)が含まれています。
 3. 株主総会の決議(取締役報酬…平成12年2月8日臨時株主総会、監査役報酬…昭和58年6月28日定時株主総会)による役員報酬限度額は以下のとおりです。
 取締役報酬…年額 80,000千円以内
 監査役報酬…年額 8,000千円以内

貸借対照表

平成31年 3月 31日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	310,463	流動負債	1,656,406
現金及び預金	92,617	買掛金	8,190
商品	8,659	短期借入金	650,000
貯蔵品	52	一年内返済予定の	
未収金	59,001	長期借入金	297,500
未収収益	37,323	未払金	124,894
短期貸付金	106,103	未払費用	22,038
前払費用	6,524	未払消費税等	11,569
立替金	180	未払法人税等	66,077
		預り金	355,611
		前受収益	61,035
		賞与引当金	14,251
		リース債務	45,237
固定資産	6,888,160	固定負債	2,409,900
有形固定資産	6,794,435	長期借入金	916,250
建物	5,546,247	リース債務	416,657
構築物	61,810	退職給付引当金	23,270
機械装置	304	役員等退職慰労金引当金	9,260
工具器具備品	127,093	預り敷金	1,040,939
土地	605,112	預り保証金	3,522
建設仮勘定	29,676		
リース資産	424,190		
無形固定資産	33,520	負債合計	4,066,306
商標権	415	(純資産の部)	
ソフトウェア	30,994	株主資本	3,129,234
電話加入権	439	資本金	400,000
その他無形固定資産	1,671	資本剰余金	600,000
投資その他の資産	60,204	その他資本剰余金	600,000
投資有価証券	10,195	利益剰余金	2,129,234
長期前払費用	4,407	利益準備金	100,000
その他の投資等	8,440	その他利益剰余金	2,029,234
繰延税金資産	39,460	繰越利益剰余金	2,029,234
貸倒引当金	△ 2,300	評価・換算差額等	3,081
		その他有価証券評価差額金	3,081
		純資産合計	3,132,316
資産合計	7,198,623	負債・純資産合計	7,198,623

(※)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

平成30年 4月 1日から

平成31年 3月31日まで

(単位:千円)

	金 額	
営業収益		2,374,759
ビル事業収入	1,920,958	
ターミナル事業収入	453,801	
営業費用		1,920,084
ビル事業費	1,523,589	
ターミナル事業費	261,925	
一般管理費	134,569	
営業利益		454,675
営業外収益		4,054
受取利息	68	
受取配当金	446	
雑収入	3,539	
営業外費用		13,998
支払利息	13,002	
雑支出	995	
経常利益		444,731
特別損失		19,669
固定資産除却損	14,945	
その他特別損失	4,723	
税引前当期純利益		425,062
法人税, 住民税及び事業税		131,458
法人税等調整額		1,507
当期純利益		292,095

(※) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月 31日） （単位：千円）

	株主資本				利益剰余金		株主資本		評価・換算差額等		純資産 合計
	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金		株主資本	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
	その他 資本 剰余金	資本 剰余金		その他 利益剰余金	繰越利益 剰余金						
当期末残高	400,000	600,000	600,000	100,000	1,797,139	1,897,139	2,897,139	3,913	3,913	2,901,052	
当期末変動額											
剰余金の配当					△ 60,000	△ 60,000	△ 60,000			△ 60,000	
当期純利益					292,095	292,095	292,095			292,095	
その他の項目の変動額								△ 831	△ 831	△ 831	
当期変動額合計					232,095	232,095	232,095	△ 831	△ 831	231,264	
当期末残高	400,000	600,000	600,000	100,000	2,029,234	2,129,234	3,129,234	3,081	3,081	3,132,316	

(※)記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの …… 決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品 …… 最終仕入原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

ただし、一部商品については、売価還元法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)を採用しています。

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産(リース資産を除く) …… 定額法

無形固定資産(リース資産を除く) …… 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備え、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備え、支給見込額に基づき計上しています。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備え、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しています。

役員等退職慰労金引当金

役員の退職慰労金の支出に備え、内規による基準額を計上しています。

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっています。ただし、資産に係る控除対象外消費税等は発生事業年度に費用処理しています。

2. 表示方法の変更に関する注記

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)の適用に伴う変更)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 担保に供している資産及び担保に係る債務

①担保に供している資産

商品 7,083,036 円

②担保に係る債務

未払金 7,083,036 円

(2) 有形固定資産の減価償却累計額 10,492,867,338 円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式の種類および総数に関する事項

期末発行済株式の数 普通株式 200,000株

(2) 配当に関する事項

①配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	配当原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成30年6月22日 定時株主総会	普通株式	60,000,000円	利益 剰余金	300円	平成30年3月31日	平成30年6月25日

②基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

平成31年6月24日開催予定の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次の通り提案しております。

決議	株式の種類	配当金の総額	配当原資	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成31年6月24日 定時株主総会	普通株式	60,000,000円	利益 剰余金	300円	平成31年3月31日	平成31年6月25日